

令和7年 第89号  
9月1日

# 早島町

# 議会だより



## Contents

6月定例会	2P
総務産業常任委員会・こども・福祉常任委員会	4P
予算審査常任委員会	5P
ここが聞きたい！一般質問	6P～13P
議会ってむずかしい？	14P



さつき荘前横断で暑い中、子どもたちの安全を見守っていただいている皆さん  
「お世話になっていきます。ありがとうございます。」



6月定例会は6月6日から6月20日まで開催され、執行部から提案された9議案がいずれも賛成多数で可決。

定例議会の開会に先立ち、町長よりお詫びと報告がありました。

【お詫び】

町が管理する公用車1台の車検及び自賠責保険の有効期限が超過しているにも関わらず運行されていた事実が判明しました。

あつてはならない事態であり、町民の皆様、議員各位にも多大なるご迷惑をおかけしましたこと深くお詫び申し上げます。

今後、このような事態がおこらぬよう再発防止策を全力で取り組んでまいります。

【報告】

学校体育館への空調設備の設置について、小学校体育館は7月10日に設置され、稼働できる予定です。

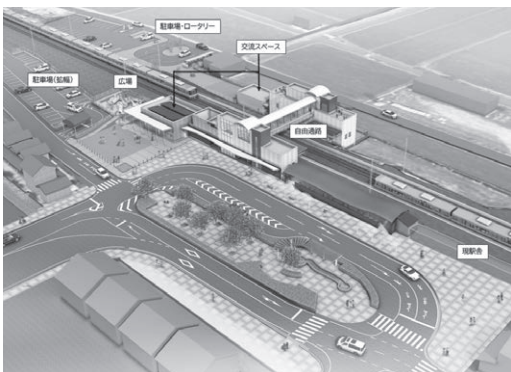
中学校体育館及び武道場の空調設備は、高圧受電設備の工事完了が9月中旬の見込みであり、それまでの間は数台のスポットクーラーを稼働させる予定です。

早島駅前にぎわい交流拠点施設の指定管理

駅周辺地域交流施設、観光センター、駅前駐車場について、指定管理者制度を活用した一体的な管理運営を実施します。

【駅周辺地域交流施設で実施する事業】

- ①多世代交流に関する事
- ②教育、学術及び文化に関する事
- ③生涯学習に関する事
- ④地域コミュニティに関する事
- ⑤子育て支援に関する事
- ⑥高齢者の健康増進に関する事
- ⑦観光、産業振興及び地域活性化に関する事
- ⑧駅周辺のにぎわい創出に関する事
- ⑨その他町長が必要と認める事



※関連議案はP 4 総務産業常任委員会で審議

定例会最終日に、ハラスメント防止対策特別委員会の設置についての発議が平岡江利子議員より行われましたが、議事日程への追加の是非を問う採決で、反対多数（賛成4・反対5）により否決され、日程への追加を行いませんでした。

【採決結果】

発議第7号 ハラスメント防止対策特別委員会設置についてを日程に追加する件について

議員氏名	賛否	議員氏名	賛否
片岡正夫議員	×	佐藤辰美議員	×
細田貴道議員	×	真鍋和崇議員	×
平岡江利子議員	○	古田敬司議員	○
根木一議員	○	舩越健一議員	×
林郁夫議員	○	水畑稔議長	※

本会議中の日程の順序変更及び追加について【早島町会議規則】

第22条第1項

議長が必要があると認めるとき、又は議員から動議が提出されたときは、議長は、討論を用いずに会議に諮って、議事日程の順序を変更し、又は他の事件を追加することができる。

## 6月定例会で審議された議案一覧

	議案名	内 容
議案第39号 【可決】	早島駅周辺地域交流施設条例の制定	駅周辺地域交流施設の完成後の指定管理に関する事
議案第40号 【可決】	早島町駐車場条例の一部を改正する条例	駐車場の新設に関する事
議案第41号 【可決】	早島町自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	駐輪場の整備に関する事
議案第42号 【可決】	令和7年度早島町一般会計補正予算（第1号）	職員の異動に伴うもの等
議案第43号 【可決】	令和7年度早島町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	同上
議案第44号 【可決】	和解及び損害賠償の額を定めることについて	町有地内で発生した事故の補償に関する事
議案第45号 【可決】	早島小・中学校タブレット端末調達契約	授業等で利用するタブレット端末の更新に関する事
議案第46号 【可決】	避難所環境改善資機材調達契約	避難所でのプライバシーを確保するための資機材の購入に関する事
議案第47号 【可決】	令和7年度早島町一般会計補正予算（第2号）	花ござ手織り伝承館の空調の更新に関する事
陳情第30号 【趣旨採択】	「最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書」採択を求める陳情	
陳情第32号 【採択】	国民健康保険財政への定率国庫負担の増額を求める国への意見書の提出を求める陳情	

## 【7月臨時会】第三者委員会の設置に関する議案2件を可決

早島町議会7月臨時会が7月8日に開催され、第三者委員会の設置に関する条例及び第三者委員会の運営に必要な経費を盛り込んだ予算案が審議され、全会一致で可決されました。

## 7月臨時会で審議された議案

	議案名	内 容
議案第48号 【可決】	早島町町政のあり方に関する第三者委員会設置条例の制定	第三者委員会を設置するために必要な条例の制定
議案第49号 【可決】	令和7年度早島町一般会計補正予算（第3号）	第三者委員会の運営に必要な経費

## ※「早島町町政のあり方に関する第三者委員会」の設置・目的

令和7年4月21日付及び5月15日付で「町議会健全化を求める町民有志」から「町政・議会の健全化と職員の尊厳を守るための要望書」等が提出され、その都度、大きく報道され、本町内外から社会的耳目を集めている。

要望書等にて指摘の内容の所在等を適正に確認し、必要に応じて諸対策を講じていくため、公正かつ中立な立場で確認いただくために標記の委員会を設置するもの。

## 早島駅周辺地域交流施設条例の制定等、4議案を全会一致で可決。

【総務産業常任委員会】

### 主な質疑

早島駅周辺地域交流施設条例の制定

Q 販わい創出を図るための具体的な考えは。

A 町内外を含む多くの人が訪れ、他世代が交流できる拠点施設を整備することで、地域活性化に繋げることを期待している。

Q 具体的には屋内交流施設、屋外の交流広場を活用した集客力の高いイベントなどを考えている。

A 交流施設の担当窓口はどこになるのか。

Q 企画課が所管し、町が責任を持って対応する。

A 施設利用者に対して駅前駐車場の料金減免は。

Q 料金減免は考えていない。

A 交流施設の閉館以降は機械警備に切り替わり、緊急ボタン操作で警備会社に自動的通報が行くようになっている。

Q 交流施設等の使用料について予算根拠は。

A 屋内交流施設の使用料についてはゆるびの舎の練習室使用料を基に設定している。

避難所環境改善資機材調達契約

Q 新たに購入するトイレ等資機材を広くPRすべきではないか。

A 町内各種イベント、総合防災訓練等で体験会、PRに努めていく。

○陳情第30号 最低賃金全国一律制への法改正を求める意見書。

継続2 趣旨採択2  
委員長裁決により趣旨採択

## 早島町市政のあり方に関する第三者委員会設置条例の制定および一般会計補正予算の2議案を全会一致で可決。

【総務産業常任委員会（7月臨時会）】

Q 委員会構成について、何故3名以内としたのか。

A 合議体を維持するために3名体制とし、補充の措置等は委員会運営の中で決めていく。

Q 内部調査を事前に行い、最終的に第三者委員会に委ねるべきでは。

A 問題が大きく、町民に納得していただくためにも客観性から判断した。現在、事実が確認されたわけではないが、町民有志の要望書がきっかけになっていることは間違いない。

Q 調査結果の公開、公表は。

A 公表については未定だが、他自治体の場合だと概略版の公表を行っている自治体があると認識している。

### 陳情一件を採択

【こども・福祉常任委員会】

○陳情第32号 国民健康保険財政への定率国庫負担の増額を求める国への意見書提出を求める陳情

採択2 趣旨採択2  
委員長裁決により採択





# 6月定例会

【予算審査常任委員会】

## 主な質疑

**早島駅前にぎわい交流拠点施設、ふれあいの森公園、いかしの舎の管理運営事業の債務負担行為補正**

**Q** 多くの施設を民間委託にしているが、特にふれあいの森公園は、施設の利用者に優先されて、一般の町民の利用がしにくくなっているのではないか。民間委託によって、どうクオリティがあがってきたのか。今後どのように活性化していくのか。

**A** 民間に指定管理をお願いする方が、効率があがり、町の発展に寄与する。来年度から指定管理者が変わるので、良いところは伸ばして、行き届いてない部分は改めていく。

観光センターは、行政では思いつかないノウハウや、民間の活力を活用していく。

早島駅前にぎわい交流拠点施設は、バリアフリーにもなり、他の地域から来場者が増えるように、指定管理の方々に頑張ってもらいたい。

いかしの舎は、町内外を問わず来場者が増えている。貸館や喫茶でも収益が上がっている。アンケート結果でも、満足度も上がっており、令和6年度の来館者数は1万5,000人、令和7年度は1万7,000人を目標に、さらなるサービスの向上を目指したい。

**Q** 指定管理の委託業者に対する要望と、話し合いの機会は設けているのか。

特に早島駅前拠点事業は沢山のメニューがあるが、委託業者との事前の話し合いはしているのか。  
**A** ふれあいの森公園に関しては、仕様書のほか、月報の報告、月に一度の職員による見回りをし、細かい要望を伝えている。

いかしの舎に関しては、仕様書に、町が求める水準が記されており、月一度報告書が上がってきている。出向いて話をすることもある。

観光センターについては、月に一度、定例会を開いている。

来年度は、駐車場、駅舎の管理も加わることから、本町が求める水準を仕様書に明記している。駅交流施設を活用し、新規事業も指定管理者と連携を図り、活気ある施設を作っていきたい。

花ござ手織り伝承館のエアコン

**Q** 製品の仕様書はあるのか。

**A** ある。現行の製品寸法と、冷暖房能力を満たす同等品以上のものを施工業者に選定してもらう。

**Q** 最大電力使用量は。

**A** 冷房使用時が28キロワット、暖房使用時が31・5キロワット。

**Q** 見積もりは何社に依頼したのか。

**A** 電気工事士の資格を持つ1社と、電気工事士、一級管工事施工管理技士の資格を持つ1社の計2社に依頼した。

**Q** リースと比較検討したのか。

**A** ダイキン公式サイトのリースシュミレーションから算出し、比較検討した。

**Q** 電気容量は問題ないか。

**A** 電気は中央公民館から、分岐して取っているが、昨年度の最大使用電力量からみても、十分な容量がある。

**Q** 設備自体の耐用年数は。

**A** 一般的に13年から14年。

**Q** 花ござ手織り伝承館が移転となった場合の対応は。

**A** 移設して継続使用するか、更新するかは、その時期によって判断することになる。

**Q** この施設を将来的にどのような整備しているかと考えているか。

**A** 都市計画道路の実現の時期や公共施設再編計画の今後の協議による。

令和7年7月8日 臨時議会

【予算審査常任委員会】

## 主な質疑

第三者委員会

**Q** 費用弁償について、職員用の予算を使い切った場合、改めて補正予算とすればいいのではないか。

**A** 第三者委員会は別事業として、新たに委員用の費用弁償を計上している。

**Q** 委員報酬480万円、調査範囲80時間の根拠は。

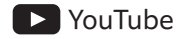
**A** 3人×80時間＝240時間は第三者委員会から指定されている。

**Q** 退職職員も調査範囲に入るのか。

**A** 第三者委員会が決める。調査範囲は、町から指定することはできない。

**Q** 過去どこまでさかのぼるのか。どこまでのデータを渡すのか。

**A** 要望書の中身の検証から始める。第三者委員会が調査計画を作る。



一般質問の様子はこちら



片岡正夫 議員

## 問

国道を挟んで、南北に最低2か所の都市公園整備を

## 答

2か所は考えていなかったが、前向きに考える

### ゾウさん広場の ような公園整備

**問** 町内には住宅開発などによる公園はあるが、いずれも狭小な公園。また、ゾウさん広場は児童館の移転で児童たちが増えたため、より手狭になり、幼児が安心して遊べるスペースが少なくなっている。

**答** 町長 防災公園整備も含めたロードマップを現在作成中。他の自治体にもあるような、駐車場が整備され、芝生が張っており、親子連れや、高齢の方が、ゆつくりでき、時にはシートを広げて弁当が食べられるような公園整備が必要では。

**答** 建設 農用地の解除が要件となる。都市計画事業も同様の要件。

### 議会での一般質問と、それに対する対応

**問** 我々議員の一般質問に対し、町長以下職員は、どのように感じ、どのように取り組んでいるのか。

**答** 町長 一般質問は町民と町政をつなぐ大切な橋渡しの場。対話と理解の精神を大切にし、誠実に答弁させていただく。

**問** 町長就任以来2年がたつが、一般質問に対してどれくらい対応できたか。

**答** 町長 質問への対応を数値化するのは難しいが、十分対応できていないと受け止め、今後に生かしていかなければならない課題である。

### 意見

町長の答弁で

### 過去の一般質問に対する対応

**問** 障害がある方々への補助に関する条例制定は。

**答** 健康福祉 県内すべての自治体で制度化されている。9月定例会を目標に準備を進める。

**問** 水路改修をたびたび質問し、令和7年度から新たな整備を進めたいとの答弁があったが、予算計上されていないのはどうしてか。

**答** 総務 予算要求したが落とされた。

**答** 町長 予算要望はあったが、財政状況を鑑み優先順位を決め、カットした。

**問** 佐藤町長就任以来、何か所の水路改修を実施したか。

**答** 建設 新たな水路改修はしていない。

**意見** 町民は水路改修を望んでいる。優先順位を上げ、有効な補助事業。補助対象外は単独町費を使い、水路改修を進めることを望む。

※今後も一般質問の検証を行う。





YouTube

一般質問の様子はこちら



舩越健一 議員

問

コミュニティバスの倉敷・中庄方面への運航を早期に実現できないのか

答

本格的な議論には至っていない。早急に検討する

**問** 週に何回か、一日に一回だけでも倉敷や中庄、特に病院関係への乗り入れを検討することは重要ではないのか。

**答** コミュニティバスによる町外への運行を実施する場合、民間事業者への影響も考慮しなければならず、いろいろ検討する課題があり、町民の利便性向上と持続可能な交通体系の両立を目指し、公共交通の在り方について早急に検討していく。

**問** 週に何回か、一日に一回だけでも倉敷や中庄、特に病院関係への乗り入れを検討することは重要ではないのか。

**答** タクシー会社との話し合いはどの程度話し合われたのか。

**答** 町長 タクシー会社との話し合いは公式には行っていない。また倉敷市とも公式には話したことはない。

**問** 地域交通計画の概要を示していただきたい。

**答** 町長 二年間かけて概要も含めてしっかり精査していく。

**答** 副町長 二か年で交通会議をもち、町民の意見を聞きながら前向きに検討していく。

**問** コミュニティバス利用者へのアンケートは実施しているのか。

**答** 企画 アンケート調査の実施は行っていない。

**問** 公共交通会議を進めていき、町外への乗入れ、特に病院関係への乗入れについての計画はあるのか。

**答** 町長 今現在、本格的に倉敷・中庄方面への乗入れについての議論は行っていない。

**要望** 二年間といわず一日も早く公共交通会議を開き、会議の場で実現できるように検討をしていただきたい。

**問** ホームページの重要性和利便性について尋ねる。

**答** 町長 スマートフォンが普及し、誰でも気軽にインターネットが使えるようになった現在、ホームページは迅速かつ容易に情報を得られるツールとして非常に重要であると認識している。一部情報の不足や見づらさがあることや、公開された情報の分類や集約に一貫性がないなどの課題についての認識はしている。他市町村と比較しながら今年度中に改善を図っていく。

**問** 介護保険制度の検討事項の認識はあるのか。

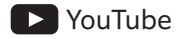
**答** 町長 介護保険準備基金を十分活用し、保険料の上昇を抑えていく。包括支援センターの職員が

積極的に地域へ出向き、百歳体操やフレイル予防教室などの充実を図る。

また、町内の各種団体やボランティアグループなどの協力を求めていき、高齢者の方々が地域において生き生きと暮らしていけるような介護予防事業を進めていく。







一般質問の様子はこちら



林 郁夫 議員

## 問 職員の人材不足対策はできているのか

## 答 働きやすい環境整備に取り組んでいく

**問** 職員の実態及び人材不足対策について、今の役場に不足しているもの、職員を増やすために目指していることは何か。

**答 町長** 即戦力となる人材の確保や定員管理のあり方が喫緊の課題。  
必要な人材を安定的に確保できるよ

**問** 近年新たに増えた業務に見合う人員

**業務の整理、長時間労働是正**

う、幅広い世代へのアプローチや魅力発信を通じ、採用力の強化を図り、早島町が選ばれる職場となるよう継続し職場環境の整備に取り組む。

**答 町長** 本年4月に大胆な機構改革を行い、業務体制の見直し、所管業務の再配分を行った。しかし、限られた

配置の見直し、既存業務との再配分の現状と課題について問う。

また、見直す業務、やめる業務の判断は。

**問** 職員の採用後の

**職員の安定雇用**

人員で最大の行政サービスを行うためには、「やめる・減らす・変える」という視点の導入と、職員が無理なく継続して働ける職場環境の整備が大きな課題であると考えている。

**問** 職員の心身の健康管理、特にメンタルヘルス対策や管理職による支援のあり方について問う。

**答 町長** 職員の健康保持と疾病予防の一環として、ストレスチェックや定期健診により、職場環境の把握と改善に努めている。

また、管理職が日常的に職員と対話を重ね、体調や精神面の变化にも注意を払うよう指導している。

**問** 非常勤職員が専門知識や経験が求められる業務を担っているか。

**答 町長** 保健師、幼稚園教諭や図書館司書等、行政運営において重要な役割を果たしている。

**問** 会計年度任用職員の業務が待遇に見合っているか。

**答 町長** 正規職員の給与表の運用、期末・勤勉手当の支給

### 職員の処遇改善

定着、すなわち職員の安定した雇用について問う。

**答 町長** 職員がやりがいや誇りを感じながら働くことができるよう、働き甲斐のある職場環境の整備に引き続き取り組み、職員の定着とともに持続可能な行政サービスの提供につなげていく。

**問** 鳥取県のように、会計年度任用職員が試験に合格すれば正規職員に転換できる制度について検討してはどうか。

等、ここ数年で処遇が改善していると認識している。

**問** 会計年度任用職員の勤務時間、任期、任期延長、更新回数等はどうなっているか。

**答 町長** 総務省の通知等に基づき、互いの意志が合致した場合、再度の任用を実施しており、適正に設定している。







YouTube

一般質問の様子はこちら



細田貴道 議員

問

職場環境の改善が行政サービス  
や事業の質の向上につながる

答

DXや開庁時間の短縮等を検討し、働き方改革を実現したい

**問** 早島町職員の皆様が、最適な職場環境で、持てる力を発揮して、前向きに、よりクリエイティブな仕事をされることが、行政サービスや事業の質の向上に繋がっていく。

**答 町長** 明らかに昨年に比べて、組織の動きに一体感が生まれている。それぞれが工夫して組織運営に努めており、さらに進化していくものと期待している。

**問** 限られた人員で多様化する行政ニーズに応えることや、国・県の職務代行も増えていることで、時間外勤務が増加しがちとも聞く。業務の外部委託や、DXの推進による業務の効率化が必要なのではないか。

**答 企画総務** 配置の調整や既存職員の支援体制を整え、業務への影響を最小限に抑えるとともに、前倒しで15名の採用も行っており、引き続き特に土木技術職員の採用強化をする。

**問** DXでは、文書管理、庶務管理などの内部事務のシステム化は進めているものの、決裁方法の見直しなど、運用面の改善が必要とされている。

**答 企画総務** 在宅勤務や時差出勤制度等も、業務の性質や職員の家族事情などを考慮し、継続的に運用している。

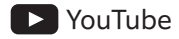
**問** 開庁時間時間外の超過勤務がどうしても発生してしまう傾向にあると思うが、多くの自治体で導入している開庁時間の短縮を検討することにより、職員は定時内に事務処理や会議などの業務が行えるようになり、残業の削減や業務の効率化が期待できる。またその生れた時間を政策立案や住民相談など、より付加価値の高い業務に充てることで、行政サービスの質の向上を図れると思うがどうか。

**答 副町長** 来訪者のご理解が前提であるが、勤務時間よりも開庁時間を短縮することで、残業時間の短縮が可能。魅力ある職場づくりを進め、職員の働きやすさの実現や採用活動にも寄与するため、導入を検討していきたい。

【その他の質問】

○公共施設再編計画の考え方と進捗状況。

○幼小中の為のセン  
トラルキッチンの  
早期整備必要性について。



一般質問の様子はこちら



根木 一 議員

## 問

聴覚障害対策で、軟骨伝導イヤホンを

## 答

窓口設置できるように準備を進めたい

**問** 窓口業務の効率化と町民の利便性向上のため、軟骨に振動を与えて音を伝え、小さな音もはっきりと聞こえ、音が明確で漏れにくく、聞き漏らしを少なくし、大きな声での会話による個人情報や周囲に漏らすリスクを軽減できるため、難聴者のプライバシー

―保護につながる。軟骨伝導イヤホンの窓口設置を。  
**答 町長** 高齢化の進展に伴い、耳が聞こえづらい方への窓口対応において必要な取り組みであると考ええる。  
県内でも、軟骨伝導イヤホンを窓口に設置している自治体は複数あり、各自治

体の状況を確認し、設置できるように準備を進めたい。  
**孤独・孤立対策**  
**問** 社会的孤立は高齢者だけでは無い。現在は、市販薬、処方薬を過剰摂取するオーバードーズが若年層で広がり、背景の一つには孤独・孤立の問題があると指

摘されている。地域での見守りは有効だ。  
例えば、孤独・孤立に関する知識を身につけて日常生活の中で困っている人を支援関係機関につなげるボランティア、つながりサポーターの養成講座は。  
**答 町長** 町としては、まず受皿や協力いただける団体、また個人の方の掘り起こしなどを行い、知識の普及啓発を図る講座等の実施を検討していく。  
**問** 孤独・孤立対策地域協議会を設置することは可能である、町長の見解は。  
**答 町長** 地域での孤独・孤立対策は非常に重要な課題と認識している。  
健康福祉課を中心に、地域での見守り、支え合いの仕組みづ

くりに取り組みたい  
と思っている。

## 障害者手帳のミ ライロイドの導 入

**問** 障害者手帳の代わりに、障害のある人の移動や生活をもっと便利に、もっと自由にするためのスマホアプリであるデジタル障害者手帳ミライロイドの導入を。

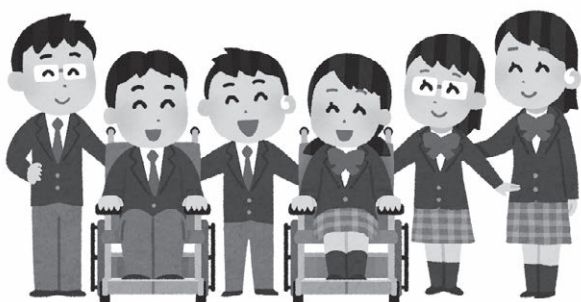
**答 町長** マイナポータルと障害者手帳

等の情報については、岡山県は既に連携されている。

今後、普及促進に向けた情報提供や啓発を行っていく。引き続き、障害者支援に関する施策を充実させるために努力していく。

## 【その他の質問】

○インクルーシブ教育と学校のバリアフリー化について







YouTube

一般質問の様子はこちら



真鍋和崇 議員

## 問 急速な物価高騰が生活を直撃。本町でできることは

## 答 水道基本料金の減免を延長する

**問** 暮らしに不安の声が多く寄せられている。町長は町民の声をどう聞いているか。

**答 町長** 「食費や光熱費が家計を圧迫、生活が苦しくなった」「教育費や医療費も上昇し将来への不安が募っている」という声を聞く。負担軽減を実感できる支援策が必要だ。

**問** 本来は国が責任を持って暮らしを支えるべきだが、本町ができることは。

**答 町長** 学校給食費の無償化や補聴器購入補助を行うが、

併せて実施中の水道基本料金の減免期間を2か月延長する。

### コメ不足と農業支援策

**問** 全国的な米不足は、国が農業者に減反・減産政策を押しつけ「米作って飯が食えない」状態に迫りやってくるから。

町農業振興地域の整備計画では「効率的かつ安定的な農業経営を育成」とある。農業の継続や事業継承の背中を後押しする農業政策を。

**答 町長** R8年度から農機具の費用負

担の支援を行う。農業が持続できる環境整備に取り組む。

**問** ふるさと納税の返礼品で農協等に出荷されたコメ60kgにつき20000円の奨励金を交付している。

しかしコメ不足の影響で、R6年度産米や、まだ収穫していない7年度産も60kg3万円前後で直接事業者が買い付けているようだ。

農協出荷額＋奨励金の額よりも、他の事業者に直接販売したほうが高額な場合もあるが、返礼品の確保は可能か。

**答 町長** 地元農家と連携を密にし、確保を進める。

### 城山学級の現状と課題

**問** 国の指針はある

が町独自の指針・ガイドラインはない。学校園と同じく保護者・子どもの声を聞く努力を。

**答 教育長** 今年度から、指導員が本来担うべき子どもたちへの支援に専念できるよう、事務作業担当者を配置。管理者も指導員の総括に専念できる環境の整備を実現しつつある。

アンケートの内容の工夫を図り、聞く努力をする。

**問** 民間児童クラブの立地にあたり、補

助制度の導入の研究状況は。

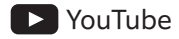
**答 教育長** 岡山市の事業所を視察。視察内容を踏まえつつ、制度構築・運営体制を検討している。

### 【その他の質問】

○行政が事業の進捗や成果を自己評価する『事業評価制度』導入時期は

○子どもたちの『意見表明権』『子どもに関係のある重要なことは、子どもの意見を聴く』努力を。





一般質問の様子はこちら



平岡江利子 議員

## 問

町政の前進に必要な職員の意欲と安心の醸成の考えは

## 答

職員が委縮せず、やりがいを持てる職場づくりを進めていく

**問** 町として、外部からの不適切な関与や発言をどのように認識し、職員の心身と職務関係を守るための対応が講じられているのか。

**答 町長** 日常的な業務における相談体制の強化に加え、ハラスメントの未然防止や早期対応に向けた研修の実施、庁内

の連携を促すため、部制を導入するなど、多角的な取組を進めている。

**問** SNS上では、役場窓口にて「議員の怒号を聞いた」といった投稿を目にしたことがある。言葉の選び方や伝え方を誤れば相手の尊厳を傷つけ、職務への意欲を奪ってしまうこ

ともなりかねない。町として、こうした課題をどのように受け止めているのか。

**答 町長** 対応や再発防止については、第三者委員会から受け取る提言等を踏まえ、専門的な知見も参考にしながら適切に講じていく。

**要望** 私自身も議員

の大きな声を実際に耳にしている。加えて「おめー」「何バカなことをよんなら」といった強い口調の発言も記憶している。この発言については、本人も心当たりがあると存じている。発言の重みを今一度振り返っていただきたい。議会が、町民にとって信頼できる場であるために、私たち一人一人が自らの発言や態度に責任を持つことが、今まさに求められていることを強く感じている。

職員がその力を発揮できるよう、必要な取り組みを進めていただくようお願いいたします。

**問** 部活動の地域移行と保護者説明の在り方について、「早島町総合型地域クラブ加入に関する御案

内」が中学校保護者に向け配信されたが、締切りまで数日、問合せ先はメールのみ、電話での対応や担当者名の記載がなく、多くの保護者が困惑し、不安を抱く形となった。保護者からは、丁寧な説明会の後に配信してほしかった、登録には不安がある、個人情報

の在り方について説明がないといった声が多数寄せられたが、この経緯は。

**答 教育長** 地域クラブへの登録及び会費の支払い方法等、配慮に欠けるものと感じている。今後は学校教育課、生涯学習課及び地域クラブ事務局との連携をさらに深め取り組んでいく。

**問** 今回の案内では、クレジットカード登録が前提となっ

**答 町長** クレジットカードを所有していない、また登録に不安な方への配慮不足は反省している。そのような方へは、納付書での支払いの周知を図っていく。今後は、より丁寧で分かりやすい情報提供を行い、地域クラブの活動が安心してできるよう努めていく。





YouTube

一般質問の様子はこちら



佐藤辰美 議員

問

議員が威圧的な言動を繰り返したとされる問題への報道について

答

報道について、パワハラがあったと明言した事実は一切ない

答 住民福祉部長

している。

殺対策計画として示

している。

答 健康福祉 「健

康はつらつ21」に自

殺対策計画として示

している。

島町の対応は。

策基本法に基づく早

島町の対応は。

と認識している。

適切に判断するもの

と認識している。

職員の早期退職

や長期休暇の現状に

ついては伝えるのか。

答 それらの背景は

複雑であることが多

い。第三者委員会が

適切に判断するもの

と認識している。

答 健康福祉 「健

康はつらつ21」に自

殺対策計画として示

している。

島町の対応は。

策基本法に基づく早

島町の対応は。

と認識している。

適切に判断するもの

と認識している。

職員の早期退職

や長期休暇の現状に

ついては伝えるのか。

答 それらの背景は

複雑であることが多

い。第三者委員会が

適切に判断するもの

と認識している。

地域と行政が一体と

なり推進に努める。

入るを量りて出

ずるを制す

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

工事は無償で実施。

②「損害賠償」請求

の可否

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。

答 町長 「出ずる

を制する」体制を整

える。



水道料金の値上げ

問 諮問委員会の目

的と構成。①水道設

備工事関係の専門家

と給水戸数の見通し

③公会計制度からの

視点

答 町長 条例によ

り委員は10人以内

で、学識経験者等で

組織。

答 環境上下水道

①アセットマネジメ

ントにより計画的に

推進する予定②人口

ピークから給水エリ

アの変動③地方公営

企業法による独立採

算制。

公共車の車検切

問 原因の徹底究

明、対策と水平展開、

責任の所在を明らか

にすること。

答 町長 総務課が

主管であるが、使用

部門等複合的チェッ

ク体制を構築した。

# 議会ってむずかしい？



条例や予算って難しくて聞いてもわからないよ。

条例や予算は分かりにくいものも多いですが、各議員の一般質問は生活に密着した内容が多く比較的分かりやすいと思うので、ぜひ聴いてみてくださいね。



町民として意見を出すことはできないの？

町民の意見を聞く方法として、請願・陳情を議会に提出することができます。  
提出された意見は議会で審議して、必要だと認められたものは町や県、国に進言します。  
全ての意見が認められるとは限りませんが、町民からの問題提起としての役割は重要です。



## 編集後記

日本の祭りを語るうえで欠かせないのが農耕。農耕を主としてきた日本では、春に種をまき、夏に育て、秋に収穫をして、冬は籠る（こもる）という生活を繰り返している。こうした営みが祭りに反映されている。

春に豊作を祈り、秋の収穫に感謝する稲作を中心とした営みを、日本人は2000年以上繰り返してきた。

「日本人の主食は米」

昨夏から高騰しているコメ価格。某アンケートによると消費者からは、「多少ならやむを得ない」との声が聞こえ、農業関係者からは「今までは、割に合っていたいなかった」。また、価格が高騰した原因の調査を求める声も上がっている。

政府も備蓄米の随意契約での売渡し等、消費者に安定した価格で供給できるよう、全力で取り組みんでいるが、早急に、安定した適正化価格の対策を期待している。

